

令和4年度 芽室高校との意見交換会 総括（案）

- 1 開催日程 令和4年12月16日(金) 16時～17時
- 2 開催場所 芽室高校会議室
- 3 参加者 芽室高校生10名（新聞局員7名、生徒会3名）
芽室町議会8名（常任委員会3名、議会運営委員会2名）
- 4 テーマ 「選ばれる芽室高校の魅力化を考えよう。」
- 5 意見交換形式 3グループに分かれた意見交換
- 6 意見交換概要

(1) 現状の共有

芽室高校を志願した理由は、公立高校の中では自身の学力に見合っていたことや、通学手段の利便性が良く保護者にとっても送迎の負担が少ないこと等が挙げられた。

学校に対する印象が入学前後では異なり、多くの生徒が入学後に芽室高校の魅力を見つけた経験を持つことから、志願校を検討する際に十分な情報発信があれば志願する生徒が増えるのではないかという意見があった。学校生活の現状として、終日、全学年スマートフォンが回収されている状況の中、1年生のみが端末を休み時間にもネットへアクセスできることへの不公平感、交通費や各種検定料への負担感、校舎の老朽化、校則改正等についても各グループから意見が出された。

(2) 課題の抽出

生徒数減少に危機感を持つ他自治体では、学校や生徒に対し助成をしているが、芽室町の現状は特に手立てを講じていないと言える。近年、芽室高校でも定員割が続く現状を踏まえると、早めの対策を打つ必要があり、高校の魅力発信力が足りていないと感じる。また、スマートフォンの取り扱いや不便な校則等については、合理的考えに基づき検討する必要がある。

(3) 対応策・解決策

芽高新聞を町内中学校に届けたり、自分の出身校に出向き芽室高校の魅力の後輩に伝えるなど、自分たちにできることに挑戦してみる。

また、スマホルールや校則については、生徒会や新聞局の活動を通じ、生徒からの意見聴取や課題について発信していく等、自主的行動を意識した。加えて、町の各種イベントへの参画やまちなかでの活動機会を創出し、芽室高校の魅力化について改めて考えて生徒の声を発信していく。

7 総 括

(1) 成 果

今回の事業目的である、生徒の意見交換を通じ、現状の魅力について長所や短所は具体的に共通認識を図られたと感じた。

また、生徒から自主的な行動に繋がる意見が多く出された。

(2) 課 題

聴取した意見をこれからどのように政策に反映していこうとするのが議会としての課題

(3) 今後の取り組み

若い世代の意見を聞く場として、芽室高校とは今後も継続して事業を実施し、実施時期、事業内容等は、年度当初から学校側と協議をし、参加人数、事業手法については、内容によって柔軟に対応していく。